

## 目白の100冊 推薦図書一覧(学科別)

推薦	書名	掲載ページ
学長	読書の価値	p1
	ガリア戦記	p3
	勉強の価値	p8
	異邦人	p13
	夜間飛行	p13
	ベラスケスの十字の謎	p13
図書館長	リヴァイアサン	p1
	正義論	p4
	文明の衝突	p5
	ゆたかな社会 決定版	p5
	プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神	p5
	雇用, 利子および貨幣の一般理論	p6
心理カウンセリング学科	臨床とことば	p2
	「つながり」の精神病理	p9
	少年期の心：精神療法を通してみた影	p9
	短歌一生：物に到るところ	p11
	村田エフェンディ滞土録	p12
	デミアン	p13
人間福祉学科	群衆心理	p6
	共生保障：「支え合い」の戦略	p7
	ベーシック・インカム入門：無条件給付の基本所得を考える	p7
	近現代日本の生活経験	p7
	チャリティの帝国：もうひとつのイギリス近現代史	p7
	J.K.ローリングその魔法と真実：ハリー・ポッター誕生の光と影	p13

## 目白の100冊 推薦図書一覧(学科別)

推薦	書名	掲載ページ
子ども学科	民主主義とは何か	p4
	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー：the real British secondary school days	p7
	世界の読者に伝えるということ	p11
	明日の子供たち	p11
	レインツリーの国	p11
	献灯使	p12
児童教育学科	「知」のソフトウェア	p1
	わたしはマララ：教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女	p3
	裁判官の爆笑お言葉集	p5
	地球の声がきこえる：生物多様性の危機をさげぶ動物たち	p8
	無言館ノオト：戦没画学生へのレクイエム	p9
	ファンタジア	p10
社会情報学科	希望の作り方	p4
	Originals誰もか「人と違うこと」ができる時代	p6
	僕らはそれに抵抗できない：「依存症ビジネス」のつくられかた	p9
	戦争と農業	p9
	竜馬がゆく	p12
	われはロボット：決定版	p13
地域社会学科	歴史とは何か	p3
	君主論	p4
	名著に学ぶ国際関係論	p5
	国際政治：権力と平和	p5
	法の精神	p5
	隷属への道	p5

## 目白の100冊 推薦図書一覧(学科別)

推薦	書名	掲載ページ
メディア学科	論理パラドクス：論証力を磨く99問	p1
	バテレンの世紀	p3
	みちのく艶笑譚	p8
	芸術崇拜の思想：政教分離とヨーロッパの新しい神	p9
	秘密の知識：巨匠も用いた知られざる技術の解明	p10
	仁義なきキリスト教史	p11
経営学科	大人になるためのリベラルアーツ：思考演習12題	p1
	「原因」と「結果」の法則	p2
	日本人の教養：混迷する現代を生き抜くために	p3
	知の逆転	p4
	これからの「正義」の話をしよう：いまを生き延びるための哲学	p4
	それをお金で買いますか：市場主義の限界	p5
英米語学科	錯覚の科学	p2
	日本の未来を考えよう	p4
	コリアン世界の旅	p4
	統計学を拓いた異才たち：経験則から科学へ進展した一世紀	p8
	外国語上達法	p10
	ぼくたちの英語	p11
中国語学科	台湾の歴史と文化：六つの時代が織りなす「美麗島」	p3
	郷土中国	p6
	茶の世界史：緑茶の文化と紅茶の社会	p9
	行人	p12
	孫悟空の誕生：サルの民話学と「西遊記」	p13

## 目白の100冊 推薦図書一覧(学科別)

推薦	書名	掲載ページ
韓国語学科	嫌われる勇氣	p3
	自分の頭で考える日本の論点	p4
	よけいなひと言を好かれるセリフに変える言いかえ図鑑	p6
	学校って何だろう：教育の社会学入門	p7
	大学生のための知的技法入門	p7
	一瞬で心をつかむ文章術	p10
日本語・日本語教育学科	日本語ウォッチング	p10
	問題な日本語 どこがおかしい?何がおかしい?	p10
	日本人の発想、日本語の表現：「私」の立場がことばを決める	p10
	超基礎・日本語教育	p10
	「中納言」を活用したコーパス日本語研究入門	p10
	日本語を書くトレーニング	p11
心理学研究科	14歳の君へ：どう考えどう生きるか	p1
	世界でひとつだけの幸せ：ポジティブ心理学が教えてくれる満ち足りた人生	p2
	希望のつくり方	p4
	ネガティブ・ケイパビリティ：答えの出ない事態に耐える力	p8
	羊と鋼の森	p11
	ゴリラからの警告：「人間社会、ここがおかしい」	p13

## 目白の100冊 推薦図書一覧(学科別)

推薦	書名	掲載ページ
リハビリテーション学研究科	勉強の哲学：来たるべきバカのために	p1
	「利他」とは何か	p2
	ギリシア神話	p3
	10分間で読める太宰治短編集	p11
ビジネス社会学科	Think smart：間違っただ思い込みを避けて、賢く生き抜くための思考法	p2
	Think right：誤った先入観を捨て、よりよい選択をするための思考法	p2
	Life shift (ライフシフト)：100年時代の人生戦略	p2
	伝え方が9割	p6
	働く女子の運命	p7
	女子学生のキャリアデザイン：自分らしさとワークライフバランス	p7
製菓学科	本・子ども・絵本	p1
	貯金すらまともにできていませんがこの先ずっとお金に困らない方法を教えてください!	p6
	聞く力 心をひらく35のヒント	p6
	スマホ脳	p8
	野心のすすめ	p12
歯科衛生学科	スタンフォード大学の共感の授業：人生を変える「思いやる力」の研究	p2
	電池が切れるまで：子ども病院からのメッセージ	p7
	「顔」の進化：あなたの顔はどこからきたのか	p8
	スマホ脳	p8
	胎児のはなし	p9
	ゴリラからの警告：「人間社会、ここがおかしい」	p13

## 目白の100冊 推薦図書一覧

★図書館の蔵書検索システムOPACで検索できます。

書名	著者	出版社	請求記号	推薦者コメント	備考
勉強の哲学：来たるべきバカのために	千葉雅也	文藝春秋	002/CH	なぜ人は勉強するのか? 「深く」勉強するにはどうすればいいか? という疑問に対して、様々な角度から答えてくれる。 勉強の嫌いな人、勉強をはじめるときかけになる本だと思う。 (推薦・リハビリテーション学研究科)	
「知」のソフトウェア	立花隆	講談社	002.7/TA	「ソフトウェア」とあるので、スマホとかのアプリ案内本だと思ったら大間違い。 著者立花隆氏は、実に多くのノンフィクションの作品を世に出している。自身の経験をふまえながら、情報収集や取材、文章表現の方法について、「こんなふうに行っている」「こんな工夫はありますか」と紹介している書である。 出版から、すでに四半世紀以上経ているのに、話の内容は少しも古びないところによさがある。 大学生になって「学ぶことの進め方」を見直したいという方にピッタリの作品である。(推薦・児童教育学科)	
読書の価値	森博嗣	NHK出版	019/MO	苦手だった読書を克服し、今では作家となっている著者が書いたもので、なんでもインターネットで検索できて、娯楽もいくらでもある現代において、読書の価値を知るために学生にぜひ参考にしてもらいたい本である。(推薦・学長)	
本・子ども・絵本	中川李枝子	大和書房	019.5/NA	誰もが知っている絵本「ぐりとぐら」の作者エッセイ。 ぐりとぐらの挿絵を描いている山脇百合子さんデザインの可愛らしい表紙で、思わず「ジャケ買い」したくなります。 何十冊と紹介される絵本のなかには、きっと子どもの頃に読んだあの本も登場するはず。 懐かしい思い出とともに、本を読むことの大切さを再認識することができます。(推薦・製菓学科)	
14歳の君へ：どう考えどう生きるか	池田晶子	毎日新聞社	100/IK	「君は生きていることは、つらいことだと思っているのだろうか?」という書き出しから、この本は始まる。 不幸な時代にいやでも生きていかなければならない君は、どうやって生きていくのだろうかかと、著者は問いかけてくる。その問いかけは、明快でわかりやすく、徹底的に追求されていく。 その問いに対して考え抜いていく姿勢は、私たち大人でも素直に引き込まれていく。 生きていくことはどんなことか、その本質を自分から考え、考え続けることの大切さ、奥深さ、そして楽しさをぜひこの本から味わってほしい。(推薦・心理学研究科)	
大人になるためのリベラルアーツ 思考演習12題	石井洋二郎, 藤垣裕子	東京大学出版会	116/IS/1 116/IS/2	本当の「教養」とはなにか。簡単に答えの出ない問題と格闘し、異なる専門や価値観をもつ他者との対話をとおして真の「大人」になるための思考力を鍛える(出典：本書帯の記載より転載)。 大学における教養教育の試みとしての教材であるが、意欲のある学生に挑戦して欲しい書籍である。 (推薦・経営学科)	全2巻
論理パラドクス：論証力を磨く99問	三浦俊彦	二見書房	116/MI	最初のページから順に進み進めてもいいし、パラパラとめくって気になる箇所から読んでもいい。 普段そこまで突き詰めて考えないところまで考え込んでみる頭の体操として。(推薦・メディア学科)	
リヴァイアサン	ホッブズ	中央公論新社	133.2/HO/1 133.2/HO/2	旧来の教会権力に根ざした理想主義社会の中世から進化した現実主義的な近代社会が到来する論理を説いた社会契約説の旗手による古典的名著。(推薦・図書館長)	原書『Leviathan』、出版社・翻訳違いの版所蔵あり

## 目白の100冊 推薦図書一覧

★図書館の蔵書検索システムOPACで検索できます。

書名	著者	出版社	請求記号	推薦者コメント	備考
Think smart : 間違った思い込みを避けて、賢く生き抜くための思考法	ロルフ・ドベリ	サンマーク出版	141.5/DO	認知心理学や社会心理学をはじめとした過去30年間の学術研究にもとづき、スイスのベストセラー作家が「思考の誤り」についてまとめてあるため。(推薦・ビジネス社会学科)	
Think right : 誤った先入観を捨て、よりよい選択をするための思考法	ロルフ・ドベリ	サンマーク出版	141.5/DO	人間が誤った判断を下す理由を、最新の知識と学術的な裏づけをもとに、失敗や不安につながる「思考の落とし穴」についてまとめてあるため。(推薦・ビジネス社会学科)	
スタンフォード大学の共感の授業 : 人生を変える「思いやる力」の研究	ジャミール・ザキ	ダイヤモンド社	141.6/ZA	人は人間関係の中で生きています。「思いやりの心は本能ではない、自分で伸ばせる能力なのだ」とキャッチコピーにあるように、自らの感性を育てるために大学生時代に読むべき貴重な一冊です。(推薦・歯科衛生学科)	
錯覚の科学	クリストファー・チャプリス, ダニエル・シモンズ	文藝春秋	145.5/CH	錯覚の研究を通じて、人の感覚や知識がいかにあいまいで不十分なものか、知ることができる。(推薦・英米語学科)	
臨床とことば	河合隼雄, 鷺田清一	朝日新聞出版	146.04/KA	臨床哲学と臨床心理学の両巨匠による「ことば」のもつ意義についての対話は、わかりやすく感動的なものである。(推薦・心理カウンセリング学科)	
世界でひとつだけの幸せ : ポジティブ心理学が教えてくれる満ち足りた人生	マーティン・セグリマン	アスペクト	146.8/SE	人間は弱点を克服するだけでは、幸せになれない。心理学者のセグリマンは心の病を治し、自らの短所や悩みを解消するのではなく、生まれながらに備わった強みや美德をさらに伸ばすことで、今より、より幸福になるという。有意義な人生になるために、著者が提唱するポジティブ心理学について考える。(推薦・心理学研究科)	
「利他」とは何か	伊藤亜沙 編	集英社	151.5/IT	コロナ禍において、家族や自分の属するコミュニティが危機に直面する中、「他者のために自分の行動を控える」といった利他的行動が求められている。果たして、「利他」とは何か、改めて考える機会が必要と思われる。(推薦・リハビリテーション学研究科)	
「原因」と「結果」の法則	ジェームズ・アレン	サンマーク出版	159/AL/1	聖書に次いで一世紀以上ものあいだ多くの人々に読みつけられている書籍の完訳版(出典:本書帯の記載より転載)。いわゆる、自己啓発本の種本であり、欧米の自己啓発書に影響をあたえてきている。内容は、いわゆる怪しいものではなく、「なにかに思い悩んだときに読むと良い本」である。(推薦・経営学科)	・複本あり ・他巻所蔵あり (全4巻)
Life shift (ライフシフト) : 100年時代の人生戦略	リンダ・グラットン, スコット・アンドリュース	東洋経済新報社	159/GR	人生100年時代と言われ、従来の働き方、学び方、結婚、子育てなど、人生の節目となってきた事柄が平均寿命の伸びと共に多様化している。学生にこれからの長寿社会における自由で多様な、複線化する生き方を考えてほしい一冊。(推薦・ビジネス社会学科)	
嫌われる勇氣	岸見一郎, 古賀史健	ダイヤモンド社	159/KI	本書は哲学者である岸見氏が哲人役、フリーランスライターの高賀氏が青年役となり、会話という形を取ることで、アドラーのメッセージがわかりやすく読めるように工夫されている。対人関係に悩んでいる人や、周りの目、世間体を気にして自由に生きられない人ならぜひ読んでほしい。(推薦・韓国語学科)	複本あり

## 目白の100冊 推薦図書一覧

★図書館の蔵書検索システムOPACで検索できます。

書名	著者	出版社	請求記号	推薦者コメント	備考
日本人の教養：混迷する現代を生き抜くために	中嶋嶺雄	朝日新聞出版	159.7/NA	本来、教養こそは「決断を促す」のであって、「決断の精度をあげていくためのもの」が教養であるはず。そして単なる知識ではなく、実践を伴うものこそが教養であり、教養とは社会を動かす力そのものだ（出典：本書帯の記載より転載）。国際教養大学学長の著作であり、大学において教養を身につける大切さについて具体的に述べられている。（推薦・経営学科）	『中嶋嶺雄著作選集』所収あり
ギリシア神話	アポロドーロス	岩波書店	164.31/AP	さまざまな学問や、文学や芸術作品に使われる題材の源泉である。西洋世界に限らず、人の普遍的なものの見方や感じ方に触れることができる（推薦・リハビリテーション学研究科）	複本あり
歴史とは何か	E.H. カー	岩波書店	201.1/CA	本書は、「歴史とは現在と過去の対話である」の名言で知られる現代歴史学の方法論を提示した名著であり、すべての社会科学系学部の大学生や大学院生の必読書である。（推薦・地域社会学科）	複本あり
バテレンの世紀	渡辺京二	新潮社	210.48/WA	日本とヨーロッパとの最初の出会いと別れをキリスト教を軸に描く。最終的に禁教、鎖国に至る多面的で複雑な事情が数々の具体的なエピソードによって紡がれる。（推薦・メディア学科）	
台湾の歴史と文化：六つの時代が織りなす「美麗島」	大東和重	中央公論新社	222.4/OH	身近な観光地として親しまれている台湾。近年は先進的な民主主義のありようやコロナ対応などでも注目を集めていますが、まだまだ知らないことも多いのでは。文学研究者の著者は、今の台湾を旅するように巡りながら、その重層的な歴史と文化を丁寧にひもといていきます。台湾入門書としても、その一歩先を知りたい人にもおすすめの好著です。（推薦・中国語学科）	
ガリア戦記	ユリウス・カエサル	PHP研究所	230.3/CA/1 230.3/CA/2	共和政ローマ期の政治家・軍人のガイウス・ユリウス・カエサルが紀元前58年から51年まで行ったガリア遠征について自ら記したもの。カエサルは文筆家としても優れており、本書はラテン語で書かれた名文として知られているが、翻訳で読んでも、その記述には血沸き肉躍るものがあり、またヨーロッパの歴史の基礎の勉強にもなる。（推薦・学長）	
わたしはマララ：教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女	マララ・ユスフザイ、 クリスティーナ・ラム	学研パブリッシング	289.2/YO	著者のマララは、2014年のノーベル平和賞を最年少17歳で受賞したパキスタンの少女。15歳の時に女性が教育を受けることの大切さを訴え、タリバンの襲撃を受け頭部に瀕死の重傷を負った。蛮行に屈せず教育の大切さを訴え続けた。国連本部で「一人の子ども、一人の教師、一冊の本、そして一本のペンが世界を変える」と演説し、世界中の多くの人々に感銘を与えた。本書はマララの自伝である。これからの社会を担う若者に、是非読んでほしい書である。（推薦・児童教育学科）	
日本の未来を考えよう	出口治明	クロスメディア・パブリッシング	302.1/DE	データをもとにした日本の姿を世界各国のそれと比較して捉えることができる。思い込みや先入観で世界を理解することの危険性を教えてくれる良書。（推薦・英米語学科）	
自分の頭で考える日本の論点	出口治明	幻冬舎	304/DE	今の日本や世界が直面している問題のなかから考えるべき22個の論点を挙げ、テーマ別に基礎的なことを解説し、論争となる問題について語られている良書。（推薦・韓国語学科）	

## 目白の100冊 推薦図書一覧

★図書館の蔵書検索システムOPACで検索できます。

書名	著者	出版社	請求記号	推薦者コメント	備考
知の逆転	ジャレド・ダイアモンド [ほか述] 吉成真由美インタビュー・編	NHK出版	304/DI	ワトソンやチョムスキーなど学問の常識を逆転させた叢書6人。現代最高の知性が、最も知りたいテーマについて語る（出典：本書帯の記載より転載）。大学の教養課程は、本来このような学問的裏付けに基づいた知を求めるはずである。学問をしたいが現状に不満のある学生向きである。(推薦・経営学科)	複本あり
希望のつくり方	玄田有史	岩波書店	304/GE	東京大学社会科学研究所が「個人を取り巻く社会のありようと希望の関係」に着目して調査研究した結果から得たことを、10代、20代の若者に向けて分かりやすく話したいと書かれた本です。(推薦・社会情報学科)  「希望とは何か」というと、希望は持つか持たないかではなく、困難が連続する社会の中で生き抜くためにどうしても求めてしまうもの、それが希望なのだと言っている。つまり、希望は夢と違って、苦しい現実の中で意識的にあえて持とうとするもの、過酷な現状から良い方向に改善したい、苦しみながら少しでも楽になりたいと思うことだという。希望を考え、自分を見つめなおすことの大切さを教えてくれる書。(推薦・心理学研究科)	複本あり
正義論	ジョン・ロールズ	紀伊國屋書店	311.1/RA	主観的な価値観によって多様化してしまった従来の正義の概念に対して現代の政治学や経済学の視点からより客観的かつ現実的な正義の概念を論じた社会哲学の大家による名著。(推薦・図書館長)	
これからの「正義」の話をしよう：いまを生き延びるための哲学	マイケル・サンデル	早川書房	311.1/SA	社会科学を学ぶ学生に対して、「いまを生き延びるための哲学」を豊富な具体例を用いて説明している。著者が、長年ハーバード大学の学生に対して実践してきた授業をまとめたもの。ソクラテスメソッドを通じて思考訓練を行う。(推薦・経営学科)	複本あり
君主論	ニッコロ・マキアヴェッリ	講談社	311.6/MA	本書は、道徳や理性の仮面を剥ぎ取った人間社会の本質が現実主義にあることを指摘し、後世の政治学、経済学、社会学、経営学など、あらゆる社会科学に基大な影響を与え、近代思想の扉を切り拓いた人類の偉大な遺産である。(推薦・地域社会学科)	・複本あり ・出版社・形態違いの版所蔵あり
民主主義とは何か	宇野重規	講談社	311.7/UN	東京大学教授の著者が、民主主義の誕生から現在の日本の民主主義までを、分かりやすく書いている。教科書のような硬い文章とは違い、民主主義がどのように育っていくのかわかりやすい。同時に、問題点も見えてきて、政治や歴史に興味がない人でも読みやすいので、大学生に読んでほしい。(推薦・子ども学科)	
コリアン世界の旅	野村進	講談社	316.81/NO	「在日」に関するさまざまなテーマの取材を通じて、日本社会の普段あまり認識されない一面を学ぶことができる。(推薦・英米語学科)	複本あり
名著に学ぶ国際関係論	花井等,石井貫太郎 編	有斐閣	319/HA	本書は、現代の国際関係論が構築されるために多大な貢献をした名著のエッセンスをコンパクトにまとめた有用な書籍であり、「東大生100人、おススメの100冊」にも選出された良書である。(推薦・地域社会学科)	旧版所蔵あり
文明の衝突	サミュエル・ハンチントン	集英社	319/HU	20世紀のイデオロギー対立の時代を経て21世紀がイスラム教文明とキリスト教文明の価値観が対決する時代となることを予言した現代政治学の盟主による名著。(推薦・図書館長)	

## 目白の100冊 推薦図書一覧

★図書館の蔵書検索システムOPACで検索できます。

書名	著者	出版社	請求記号	推薦者コメント	備考
国際政治：権力と平和	ハンス・J・モーゲンソー	岩波書店	319/MO/1 319/MO/2 319/MO/3	本書は、国際社会が主権国家間の利害をめぐる対立システムであり、各国が政治的現実主義に基づいて国力の増大を目指す闘争社会であることを喝破した国際政治学の現代知性である。 (推薦・地域社会学科)	・全3巻 ・単行本(出版社違い)所蔵あり
法の精神	シャルル・ド・モンテスキュー	中央公論新社	321.1/MO	本書は、力と力の対抗関係による社会の安定という認識から、権力分立制によって平等主義・人権主義を守る制度的な理念を生み出した法学・社会学・政治学の古典的名著である。 (推薦・地域社会学科)	出版社・形態違いの版所蔵あり
裁判官の爆笑お言葉集	長嶺超輝	幻冬舎	327.04/NA	「法という道具を使って人が人を裁く」とはどういうことなのか、自分が裁判員になったら…と、様々に考えることができる。 法の仕組みは、「ある」か「ない」か、という二項対立の組み合わせで、「デジタル」だといえるそう。このデジタルな法的結論の中に、ふとアナログの表情が見える裁判官の言葉。 普段あまり耳にする機会がない裁判官の発言を、著者が傍聴や報道から集めたものである。笑いや怒りや、悲しみを感じることができる書である。(推薦・児童教育学科)	
ゆたかな社会 決定版	ガルブレイス	岩波書店	331/GA	資本主義経済の発展により豊かな生活水準を獲得した人々がどのような社会を形成するかを論じたアメリカ制度派経済学の正統継承者による名著。(推薦・図書館長)	初版・第2版所蔵あり
それをお金で買いますか：市場主義の限界	マイケル・サンデル	早川書房	331.1/SA	社会科学を学ぶ学生に対して、「市場主義の限界」を豊富な具体例を用いて説明している。 著者が、長年ハーバード大学の学生に対して実践してきた授業をまとめたもの。ソクラテスメソッドを通じて思考訓練を行う。 大学や企業の採用試験などで行われる「グループワーク」の題材が多く掲載されている。(推薦・経営学科)	
プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神	マックス・ウェーバー	日経BP社	331.5/WE	プロテスタントのキリスト教倫理主義がそれまで批判されてきた功利主義を肯定することを通じて、資本主義の発展をもたらす精神的支柱となった論理を解明した、社会学の父による名著。(推薦・図書館長)	
隷属への道	フリードリッヒ・フォン・ハイエク	春秋社	331.72/HA	本書は、共産主義や社会主義が根本的に全体主義や独裁主義と同様の強圧的な人権侵害の社会体制であり、資本主義の本質を支える自由主義や民主主義が重要であることを訴えた政治経済学の歴史的名著である。 (推薦・地域社会学科)	原書『The road to serfdom』、翻訳違いの『隷従への道』所蔵あり
雇用, 利子および貨幣の一般理論	ケインズ	岩波書店	331.74/KE/1 331.74/KE/2	財政政策と金融政策の施行により資本主義社会の景気変動の波を緩和する政府の経済政策の論理を体系的に論じたマクロ経済学の父による歴史的名著。(推薦・図書館長)	・全2巻 ・原書『The general theory of employment, interest and money』、出版社・形態違いの版、翻訳違いの『雇用、利子、お金の一般理論』所蔵あり

## 目白の100冊 推薦図書一覧

★図書館の蔵書検索システムOPACで検索できます。

書名	著者	出版社	請求記号	推薦者コメント	備考
Originals誰もが「人と違うこと」ができる時代	アダム・グラント	三笠書房	336.3/GR	バカ売れした『G I V E & T A K E 「与える人」こそ成功する時代』の次作。アイデアを最大化する組織とは？答えはこの本にある（かも？）。(推薦・社会情報学科)	
貯金すらまともにはできていませんがこの先ずっとお金に困らない方法を教えてください!	大河内薫, 若林杏樹	サンクチュアリ出版	338.1/OK	日本人のマネーリテラシーを向上させるべく、義務教育にお金の教育を義務付けられるようにしたい著者の活動に感銘を受けました。大人でも子供でも読みやすいように笑いを交えた漫画本となっています。毎日の生活に欠かせないお金の知識を学べる著書です。(推薦・製菓学科)	
群衆心理	ギュスターヴ・ル・ボン	講談社	361.44/BO	SNSなどの影響が大きいといわれる現代社会において、「群衆」とはどのようにとらえることができるのか。これまでの時代状況とは異なる、私たちの社会に蔓延する「群衆心理」の問題を新たな視点から考えるための貴重な文献である。(推薦・人間福祉学科)	
聞く力 心をひらく35のヒント	阿川佐和子	文藝春秋	361.454/AG/1	軽妙な語り口でさらりと読める。コミュニケーション能力を養うヒントが満載で、さまざまな場面で大いに役に立つ。(推薦・製菓学科)	・複本あり ・他巻所蔵あり (『聞く力』全2巻)
よけいなひと言を好かれるセリフに変える言いかえ図鑑	大野萌子	サンマーク出版	361.454/ON	大学生として、様々な人間関係を構築していくなかで、言葉のかけ方で苦労する場面も多いと思うが、著者の述べるちょっとした言い方の工夫を自分なりに活かすことで円滑なコミュニケーションができると思う。(推薦・韓国語学科)	
伝え方が9割	佐々木圭一	ダイヤモンド社	361.454/SA/1 361.454/SA/2	大学生、短大生にとってコミュニケーションの大切さをわかりやすく解説しています。(推薦・ビジネス社会学科)	全2巻
郷土中国	費孝通	風響社	362.22/HI	激しく変わりゆく現在の中国。変化の本質をどう捉えたらよいのか。書齋での研究生生活と村々のフィールドワークから生み出された一連の研究成果を踏まえ、個人・家族・社会・国家を構造的に分析した名著。著者の考え方に触れると社会を見つめる視点の変化を実感できるし、中国の事象の背景、古典の出所、関連する学問の変遷など、多様な分野にわたる詳細な注釈にも感嘆。読者をより広い世界へ誘う。(推薦・中国語学科)	
共生保障：「支え合い」の戦略	宮本太郎	岩波書店	364/MI	20世紀後半のバブル崩壊以降、家族やコミュニティの崩壊による孤立や生活のしづらさ、それに伴い低所得・困窮問題に対して、これまでの制度構造を新しい視点から問い直す。新たに、地域の人々自身が支えあうことの出来るシステムとしての「共生生保障」を提起し、その方向性を示す。(推薦・人間福祉学科)	
ベーシック・インカム入門：無条件給付の基本所得を考える	山森亮	光文社	364/YA	近年のグローバリゼーションの中で、低所得者、中間層に対する生活保障について考える上で、ベーシック・インカムの考え方は大きな影響を与えつつある。政治、社会保障などの問題やコロナ禍の政策に影響を与えるとともに、新たな社会問題を解決方法を提示するメルクマールとなる。(推薦・人間福祉学科)	

## 目白の100冊 推薦図書一覧

★図書館の蔵書検索システムOPACで検索できます。

書名	著者	出版社	請求記号	推薦者コメント	備考
近現代日本の生活経験	中川清	左右社	365/NA	放送大学の講義をもとに、筆者の言葉を使えば、「少子長命化、格差社会、ワーキングプア、老老介護、生きづらさ」をテーマに、我が国の近現代の生活問題を多様な側面から分析している。生活史の歴史的視点からとらえた「生活構造」論である。(推薦・人間福祉学科)	
働く女子の運命	濱口桂一郎	文藝春秋	366.38/HA	文春新書であり、です・ます体の図書でよみやすく、内容的には優れたものがある。(推薦・ビジネス社会学科)	
チャリティの帝国：もうひとつのイギリス近現代史	金澤周作	岩波書店	369.1/KA	チャリティという言葉は、イギリスに限らず、我が国でも「慈善」という言葉で同義に使われてきた。しかし、我が国との関係も含めて、この著作は、「善意の歴史というスタンス」からイギリスを歴史的にとらえるとともに、大英帝国から戦争国家、福祉国家という枠組みからとらえる近現代史として学ぶことが出来る。(推薦・人間福祉学科)	
学校って何だろう：教育の社会学入門	苅谷剛彦	筑摩書房	370.4/KA	本書は、自分で考えることの大切さがわかる。当たり前を受け入れていることについて疑問を持ち、その理由についてもっと深く考えるきっかけを与えてくれる本である。(推薦・韓国語学科)	
ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー：the real British secondary school days	ブレディみかこ	新潮社	376.3/BR/1 376.3/BR/2	イギリスで保育士をしている著者の一人息子の中学生生活を通して、社会に潜む差別や多様性について気付かせてくれる本である。明るく砕けた文章で書かれており、とても読みやすいが、考えさせられる部分も多い。読後は気持ちが明るくなる本。(推薦・子ども学科)	全2巻
大学生のための知的技法入門	佐藤望 編著	慶應義塾大学出版会	377.15/SA	2006年の刊行以来、計4万部以上のロングセラーとなっている大学生向け学習指南書の決定版。ノートの取り方、情報の探し方、レポート・論文の書き方など、大学生が身に着けるべき作法について記述されている。(推薦・韓国語学科)	旧版所蔵あり
女子学生のキャリアデザイン：自分らしさとワークライフバランス	野村康則, 竹内雄司	水曜社	377.9/NO	本書は、学生時代に考えておくべき事から現在の就業状況と職業観、法律の整備状況から現実の社会・企業における実態などをわかりやすく解説しているため。(推薦・ビジネス社会学科)	・複本あり ・旧版所蔵あり
電池が切れるまで：子ども病院からのメッセージ	すずらん会 編	角川書店	378.4/SU	長野県安曇野こども病院の不治の病を抱えた子供たちが、院内学級で描いたイラストや詩をまとめたものです。医療、看護、幼児・こども教育、心理などを目指している学生には、患者さんの気持ちを知るための手がかりになる一冊だと思います。(推薦・歯科衛生学科)	
勉強の価値	森博嗣	幻冬舎	379/MO	人はなぜ勉強するのか、という問いに対して、「人に勝つため」「社会的な成功者になるため」というような周囲を意識した答えではなく、作者独特の自由な発想の中から、自らが満足することを第一に考えて行くという、示唆に富んだ本である。(推薦・学長)	
みちのく艶笑譚	佐々木徳夫	未来社	388.12/SA	柳田国男が扱わなかった話題が満載である。学術的に真面目に捉えることも勿論できるが、まずは手にとって読んで笑って頂きたい。(推薦・メディア学科)	出版社・形態違いの版所蔵あり
統計学を拓いた異才たち：経験則から科学へ進化した一世紀	デイヴィッド・サルツブルグ	日本経済新聞出版社	417.02/SA	「統計学とは何か」を統計学史上のエピソードをもとに理解できる。(推薦・英米語学科)	

## 目白の100冊 推薦図書一覧

★図書館の蔵書検索システムOPACで検索できます。

書名	著者	出版社	請求記号	推薦者コメント	備考
「顔」の進化：あなたの顔はどこからきたのか	馬場悠男	講談社	469.43/BA	顔にはどのような意味があるのか、またどのように進化してきたのかを分かりやすく、読みやすく解説している。 (推薦・歯科衛生学科)	
地球の声がきこえる：生物多様性の危機をさげふ動物たち	藤原幸一	講談社	482/FU	生物ジャーナリストで写真家の藤原幸一氏が、地球環境の変化によって苦しんでいる野生生物を紹介している書である。 この書を読んで、18種類の野生生物のさげびを聞いてみてほしい。多くの野生生物が絶滅している現状について、私たちは真正面から考えるべきときがやってきていることに気づき、環境問題への自分の行動を考えてほしい。(推薦・児童教育学科)	
スマホ脳	アンデシュ・ハンセン	新潮社	491.371/HA	この十年で急激に普及が拡大しているスマホの過度な使用に対して、脳に与える影響について様々な視点で指摘し、現代人への警笛を鳴らしている。(推薦・歯科衛生学科)  スマートフォンの驚異的な普及により利便性が良く生活にかかせないものとなっている反面、人間へさまざまな悪影響を及ぼす研究結果を書いている大変興味深い著書である。(推薦・製菓学科)	
ネガティブ・ケイパビリティ：答えの出ない事態に耐える力	帚木蓬生	朝日新聞出版	493.7/HA	著者は精神科医でもあり作家でもある。 ネガティブ・ケイパビリティという言葉は「どうにも答えの出ない、どうにも対処しようのない事態に耐える能力」を指す。 私たちは問題の解決を急ぐあまりこれまでの既存の理論や考えによって、すぐに答えを出そうとするが、そうした態度から一歩引いて、「性急に証明や理由を求めずに、不確かさや不思議さ、宙ぶらりんの状態を耐え抜き、懐疑の中にいることができる能力」が必要だと著者はいう。 身動きのできない現在、新しい展望が開けるときがいつか来るのではないかと思わせてくれる。 (推薦・心理学研究科)	
「つながり」の精神病理	中井久夫	筑摩書房	493.7/NA	生きていく上で避けられない関係としての家族のとらえ方、高度成長社会からバブル経済崩壊までの社会変動の中で、人と人のつながりについて、日本最高の精神科医が読み解いていて、日本文化の理解に役立つ。 中井久夫コレクションは5冊ほどあるので、どれも面白い。(推薦・心理カウンセリング学科)	
僕らはそれに抵抗できない：「依存症ビジネス」のつくられかた	アダム・オルター	ダイヤモンド社	493.74/AL	スティーブ・ジョブズは、自分の子どもが成長するまで、i-Padを使わせなかったそうです。依存症になるのがわかっていたから。 自分の行動が自分の意思で決めたのではなく、実は誰かに選ばされた結果かもしれないと思うと、恐ろしくなりませんか？(推薦・社会情報学科)	
少年期の心：精神療法を通してみた影	山中康裕	中央公論社	493.937/YA	心理療法をわかりやすく多くの子どもの事例を通して、箱庭療法や絵画療法、詩歌療法などを心理療法で用いるなかで、子どもの心が癒やされていくことが手に取るようにわかる。ベストセラーになった名著。(推薦・心理カウンセリング学科)	

## 目白の100冊 推薦図書一覧

★図書館の蔵書検索システムOPACで検索できます。

書名	著者	出版社	請求記号	推薦者コメント	備考
胎児のはなし	増崎英明,最相葉月	ミシマ社	495.6/MA	近年の超音波診断の進歩によって母胎内の胎児の様々な様子が解説されているが、産婦人科医と聞き手のジャーナリストとの対話形式で書かれており、医学的なテーマに偏らず非常に読みやすく男性女性を問わず読んでもらいたい。(推薦・歯科衛生学科)	
戦争と農業	藤原辰史	集英社インターナショナル	610.12/FU	戦争と農業には深い関係があります。例えば、戦車はトラクターをモデルにできています。この本は歴史はもちろん、「食べるとはどういうことか」を教えてくれる一冊です。(推薦・社会情報学科)	
茶の世界史：緑茶の文化と紅茶の社会	角山栄	中央公論社	619.8/TS	現在様々な国で愛されている茶は、ヨーロッパ人が16世紀に出会って以来、世界史を動かすコンテンツとなっていく。 身近に存在する茶がどのように世界史に影響を及ぼすのか、「チャ」という語の伝播から、茶をめぐる国際的な流通や情報活動まで様々な面を歴史的視点から描いた名著。(推薦・中国語学科)	複本あり
芸術崇拝の思想：政教分離とヨーロッパの新しい神	松宮秀治	白水社	701.3/MA	18世紀以前、腕を買われる職人であった人々が、あるときから「芸術家」となった。 世俗権力や宗教的権威に奉仕することから離れた「芸術」は自律的に価値あるものとして神格化されていった。「芸術崇拝の制度」に切り込む好書。(推薦・メディア学科)	
無言館ノオト：戦没画学生へのレクイエム	窪島誠一郎	集英社	720.69/KU	「無言館」は、長野県上田市の郊外に建つ、十字架の形をした平屋建ての小さな私設美術館である。 私は、美術館を訪れてからこの本を読んだ。戦死した画学生の遺作や遺品が、約300点展示されている。 著者窪島氏が画家・野見山暁治氏と全国の戦没画学生の遺族を訪問して、遺品である絵などの展示を働き掛けた。 その内容や美術館設立の経緯、いくつかの作品なども掲載されている。 「無言」を受け止めに美術館を訪れてもよいと思う。(推薦・児童教育学科)	
秘密の知識：巨匠も用いた知られざる技術の解明	デイヴィッド・ホックニー	青幻舎	723.05/HO	多数の西洋古典絵画は光学機器を駆使して制作されていた。 筆者は著名な画家であり、作品を詳細に分析し、自ら技法を実験する。「見る」ということについて改めて考えさせられる。(推薦・メディア学科)	
ファンタジア	ブルーノ・ムナーリ	みすず書房	757/MU	デザイナーであり、造形作家であり美術教育家でもあるブルーノ・ムナーリ氏が書いたもの。原著は30年以上前に出版されたが、今も多くの人に読まれている。 タイトルにもなっている「ファンタジア」とは、ものを生み出す源のことである。1冊の中でこれが様々な角度から紹介されている。 学生の中には、どうも自分には創造力がないようだ…と感じている人が少なくないように思うが、創造性は全員にもれなく備わっていることに、気が付かせてくれるような書である。 読めば、なんとなくできそうな気がしてくるはずである。(推薦・児童教育学科)	
外国語上達法	千野栄一	岩波書店	807/CH	外国語を学ぶ際に、何が大切か、どのように取り組めばよいか、知ることができる。(推薦・英米語学科)	複本あり

## 目白の100冊 推薦図書一覧

★図書館の蔵書検索システムOPACで検索できます。

書名	著者	出版社	請求記号	推薦者コメント	備考
日本語ウォッチング	井上史雄	岩波書店	810.4/IN	有名な「ラ抜き」「サ入れ」「～じゃん」「～みたく」など、現代の日本語において定着しつつある（新）用法について、方言との関係なども視野に入れながら、その生成過程や動態・背景などを解説している。 (推薦・日本語・日本語教育学科)	複本あり
問題な日本語 どこがおかしい？何がおかしい？	北原保雄 編	大修館書店	810.4/KI/1	どこがおかしい、とか、なにかへんだ、と感じられる日本語の表現について、その元となる「問題」部分に焦点を当て、そうした表現がなぜ使われるようになったかなどの点について、例を豊富に挙げて分かりやすく説明している。(推薦・日本語・日本語教育学科)	他巻所蔵あり (『問題な日本語』全4巻)
日本人の発想、日本語の表現：「私」の立場がことばを決める	森田良行	中央公論社	810.4/MO	日本語という言語の特性について、単に外国語との比較対照などの点から説明するのではなく、その元にある発想や意識の面から違いを考察し、かつ、具体的な表現方法の面などから興味深い考察を行っている。 (推薦・日本語・日本語教育学科)	
超基礎・日本語教育	森篤嗣 編著	くろしお出版	810.7/MO	表題から分かる通り、漠然とした興味があっても、実際にはどのようなアプローチを取っていけばよいか分かりにくい日本語教育の世界について、その実態や内容を具体的かつ丁寧に、解説・説明している。 (推薦・日本語・日本語教育学科)	
「中納言」を活用したコーパス日本語研究入門	中俣尚己	ひつじ書房	810.7/NA	近年、パソコンを利用した日本語や日本語教育の分野での研究が盛んになっているが、その基礎的な方法について、国立国語研究所によって開発されたソフトを活用して、レポートや論文を作成する方法までを、分かりやすく解説している。(推薦・日本語・日本語教育学科)	
一瞬で心をつかむ文章術	石田章洋	明日香出版社	816/IS	SNSやメール等で考えや気持ちを文章として表現することが多くなった時代のなかで、特に、心をつかむ文章をさまざまなジャンルに合わせて素早く書くことが求められている。 レポートや手紙などどんな場面にも通用できる文章術を知ることができる良書。(推薦・韓国語学科)	
日本語を書くトレーニング	野田尚史, 森口稔	ひつじ書房	816/NO	近年、メールなどを除くと大幅に機会が減りつつある「書く」ことについて、従来のような原稿用紙に印象や感想などを書く場合は異なり、日常的で実用的な場面を想定して、さまざまな日本語の書き方を、改めて考えながらトレーニングを行っている。(推薦・日本語・日本語教育学科)	
ぼくたちの英語	黒田龍之助	三修社	830.7/KU	英語を学ぶということについて、新たな視点を与えてくれる。 (推薦・英米語学科)	
世界の読者に伝えるということ	河野至恩	講談社	901/KO	日本文化を海外に発信していく上で大切なことは何か。本書における「ふたつのレンズ」を通してみれば、その答えを考える際、「世界の読者」の視点が必要であることに気づくはず。(推薦・子ども学科)	
短歌一生：物に到るころ	上田三四二	講談社	911.16/UE	「ここにころがあり、そこに物があるのではない。 物が心で、心が物である」と、あとがきにあるように心の声としての詩歌、そして日本語のもつ力について、自己理解を深めるためにも貴重な著作である。(推薦・心理カウンセリング学科)	

## 目白の100冊 推薦図書一覧

★図書館の蔵書検索システムOPACで検索できます。

書名	著者	出版社	請求記号	推薦者コメント	備考
明日の子供たち	有川浩	幻冬舎	913.6/AR	児童養護施設で働き始めた青年を通して、施設で生活する子どもたちが抱える苦勞や問題、関わる大人の責任などが理解できる小説。 フィクションではあるが、実際の問題に重なる部分も多い。 子どもたちに本当に必要な支援とは何なのか、考えさせられる本である。(推薦・子ども学科)	単行本所蔵あり
レインツリーの国	有川浩	新潮社	913.6/AR	1冊の本をめぐる話から知り合った若い男女。 お互いに惹かれ合いながらも、ある障害の存在が二人の関係に影を落とす。悩みと苦しみを経た先にある、恋を描いたラブストーリー。(推薦・子ども学科)	出版社違いの 文庫版所蔵あり
10分間で読める太宰治短編集	太宰治	ゴマブックス	913.6/DA	読者に、「自分にも、こんなこと良くあるな～」と感じさせてくれる作品集である。孤独を感じやすい青年期のころに優しくひびく。(推薦・リハビリテーション学研究科)	
仁義なきキリスト教史	架神恭介	筑摩書房	913.6/KA	「信仰＝任侠道」とし、キリスト教の歴史をやくざの世界に置き換えて小説化した大胆な一冊。 宗教は聖なるものといえど、その営みは世俗の人間によるものとしてユーモラスに活写される。 (推薦・メディア学科)	
羊と鋼の森	宮下奈都	文藝春秋	913.6/MI	高校にきた年配のピアノの調律師との出会いをきっかけに、調律師を目指すことになる主人公は、自分の人生をピアノの調律にかけていく。 先輩の調律師や客とのかかわりを通じて、主人公は技術を磨くために、こつこつと努力を積み上げ、よりよい音を未熟ながらも追求していく。 そうした地道なことがらのひとつひとつが仕事をする、人生だということを感じさせてくれる小説。 (推薦・心理学研究科)	
村田エフェンディ滞土録	梨木香歩	角川書店	913.6/NA	「西の魔女が死んだ」の作者の著作で、何冊かのシリーズ例えば「冢守綺譚(新潮文庫)」の一冊で、時代背景を第一次世界大戦の頃に設定され、爽やかな笑いと真摯な祈りに満ちた永遠の名作青春文学。 トルコに行ってみたくなるような気持ちにさせてくれる。(推薦・心理カウンセリング学科)	
行人	夏目漱石	新潮社	913.6/NA	疑うこと。批判すること。それができない者に真理を知る資格はない。だが、知ることと安心することは同一なのか。 真理が見えた先に果たして幸福はあるのか。一度考えてみて欲しい。(推薦・中国語学科)	・複本あり ・出版社違いの文庫版、全集所収あり
僕僕先生	仁木英之	新潮社	913.6/NI	中国唐代を舞台に展開するほのぼのとしたお話。 不老不死なのに少女の姿ですごい力を発揮する僕僕と、ぐうたら弟子の王弁と一緒に旅に出てさまざまな出来事、人に出会い、解決していく物語。 僕僕の辛辣な言葉は皮肉が効いていて面白いし、口では意地悪をいいながらも出来の悪い王弁をなんだかんだと助けていくところもほほえましい。 2006年ファンタジーノベル大賞受賞。イラストも内容に合っていて一見の価値あり。シリーズ1冊目。 (推薦・中国語学科)	

## 目白の100冊 推薦図書一覧

★図書館の蔵書検索システムOPACで検索できます。

書名	著者	出版社	請求記号	推薦者コメント	備考
竜馬がゆく	司馬遼太郎	文藝春秋	913.6/SH/1 913.6/SH/2 913.6/SH/3 913.6/SH/4 913.6/SH/5 913.6/SH/6 913.6/SH/7 913.6/SH/8	海外から軍事圧力のもと市場開放を求められた激動の幕末において、若者たちがどう悩み、どう生きたのか。今の若者にもきっと参考になるはず。(推薦・社会情報学科)	全8巻
献灯使	多和田葉子	講談社	913.6/TA	大災厄によって多大な損害を被り、鎖国状態となってしまった日本が舞台のディストピア小説。外来語も自動車もインターネットもなく、それゆえに可笑しさを誘う物語世界の様子は、その一方で、東日本大震災以降の日本が抱える様々な問題と、その先にあるかもしれない世界を否応なく想起させる。「今、ここ」の現実や未来を考えるための、読み応えのある一冊。(推薦・子ども学科)	
野心のすすめ	林真理子	講談社	914.6/HA	「欲を出して上を目指せば、人生が広がる」という自己啓発本。著者は若いころのどん底からどう階段を駆け上り、現在の有名作家の地位を築いたのか。就職活動での40戦全敗など、経験に基づいた話には説得力があり、共感を覚える。(推薦・製菓学科)	
ゴリラからの警告：「人間社会、ここがおかしい」	山極寿一	毎日新聞出版	914.6/YA	霊長類学・人類学者、教育者であり、ゴリラ研究の第一人者である著者が、ゴリラ社会の生態をつうじて、人間社会、これからの教育などへの独自の観点で将来に警告を発している。(推薦・歯科衛生学科)  類人猿の研究者である著者は、ゴリラ社会の視点から、人間の進化、人間社会を見つめている。現代社会の諸問題に触れながら、人間の教育やよりよい生き方を考えさせてくれる。ゴリラが合理的に生きているすべを考えさせてくれる書。(推薦・心理学研究科)	
孫悟空の誕生：サルの民話学と「西遊記」	中野美代子	玉川大学出版部	923.5/NA	孫悟空はどこからきたのだろうか、という謎について、古代中国のサルに関わる多数の民話、伝承を博捜して考察している。そしてブタやカッパ、白馬の由来についても語られる。(推薦・中国語学科)	
J.K.ローリングその魔法と真実：ハリー・ポッター誕生の光と影	ショーン・スミス	メディアファクトリー	930.278/RO	ハリー・ポッターの原作者が、自分の著作が脚光を浴びるまでの生活経験をいわば評伝として取材に基づき書かれたもの。シングルマザーとして、困窮の中で、小説を執筆しながら、イギリスでどのような生活を送ってきたかという内容が具体的で、別の意味でハリー・ポッターという小説の背後に見える筆者の思いが浮かび上がってくる部分が興味深い。(推薦・人間福祉学科)	
われはロボット：決定版	アイザック・アシモフ	早川書房	933.7/AS	アシモフのロボット作品を集めたSF短編集で、気軽に読めます。この本は、人工知能・知能ロボット研究者に非常に大きな影響を与えました。(推薦・社会情報学科)	

## 目白の100冊 推薦図書一覧

★図書館の蔵書検索システムOPACで検索できます。

書名	著者	出版社	請求記号	推薦者コメント	備考
デミアン	ヘルマン・ヘッセ	岩波書店	943.7/HE	戦後初のノーベル文学賞作家であり、詩人でもあるヘルマン・ヘッセの自己分析、自叙伝のごとき作品。悩み多き青春に直面する自己の問題について、その悩みの乗り越え方について、理解するのに役立つ。ユング心理学的な、男性の心の中にあるアニマやグレートマザーとの直面の大切さがわかる。(推薦・心理カウンセリング学科)	複本あり
異邦人	アルベール・カミュ	新潮社	953.7/CA	フランスのノーベル賞作家アルベール・カミュの代表作で、日本のフランス文学翻訳の書物として最も売れた本と言われている。通常から見ると論理的な一貫性が失われている主人公ムルソーを描くことで、理性や人間性の不合理を追求する。アルジェの海岸で「太陽のせい」でアラブ人を撃って死刑判決を受けたムルソーが、最後に司祭の前で怒りを爆発させるところが読みどころである。(推薦・学長)	
夜間飛行	アントワーヌ・ド・サンテグジュペリ	光文社	953.7/SA	『星の王子さま』の作者として知られるサンテグジュペリが、フランスの文学賞であるフェミナ賞を受賞した作品。自身も飛行機乗りであったサンテグジュペリが、まだ夜間に飛行することが常に生命の危険と隣り合わせだった時代に、人間の尊厳とは何か、勇気とは何かということを追求めた作品である。(推薦・学長)	
ベラスケスの十字の謎	エリアセル・カンシーノ	徳間書店	963/CA	ベラスケスの絵『ラス・メニーナス（侍女たち）』に描かれた少年ニコラスが絵の謎を解き明かすファンタジーで、児童文学に属するが、読み始めると先を読まずにはいられなくなるような読書の楽しさを味わえる本である。(推薦・学長)	